

実施報告書

1 学校名：岐阜県立大垣北高等学校

2 実施内容

授業者等	授業日	2002年11月13日	学年	3年
	授業者	浮田 徹	教科	公民(政治経済)
	校種	高校	単元	食糧と農業の問題
	ねらい	新食糧法施行(1995年)以降の日本の農業や食糧に関して、お米の問題を中心に、パワーポイント等を使ってどのような課題があるのかを具体的に理解し、今後の農業や食生活のあり方について、考えさせる。実際の農業に携わっておられる方をお招きし、具体的な問題について、生徒自身が調査・考察する機会とする。		
授業の流れ	<p>(導入)</p> <p>本時の目的と講師の紹介...講師の方には最初から生徒と同じ席に入らせていただく。パワーポイントを使って米販売店の写真を見せる 発問「お米はどこで売られているか」 米販売の規制緩和に気づかせる 実物投影機を使ってお米の加工食品を見せる 発問「冷凍米飯や無菌米飯は、どこで作っているか」 食品加工会社が米市場に参入してきていることに気づかせる</p> <p>(展開)</p> <p>パワーポイントを使って、「新食糧法」と「農産物の輸入自由化」の動きについて説明する 発問「この動きが、米価や食糧自給率に与える影響は？」 ...学習プリントに学習事項や自分の意見をまとめさせながら進める パワーポイントを使って、家庭に依頼した食に関するアンケート結果を発表 ...アンケートのポイントをプリントに書き取らせ、班別調査への導入とさせる 班別に、講師の方への質問・調査を実施...1・2点について、深く質問させる 調査結果の発表 各班の調査結果を黒板に記入(画用紙にマジックで記入。画用紙の裏には板磁石を添付)し、班ごとに発表させる パワーポイントのビデオ映像を使って、お米やさんの意見を紹介 発問「私たちは、食に対し、どのような意識が必要か」 ...自分たちの身近な取り組みとして気づかせる</p> <p>(まとめ)</p> <p>班ごとに討論・意見のまとめ 発問「今後、日本の農業はどうあるべきか」 ...各自、本時のまとめとして考えさせる</p> <p>発表 教師によるまとめと講師の方へのお礼</p>			
	考察	<p>パワーポイントや実物投影機による映像を用い、生徒の知識理解が具体的かつ身近なものとなるよう工夫した。 パワーポイント等の映像による知識理解や考察等が、生徒に定着し、自分のモノとなるように学習プリントを用意し、その内容も工夫した。 班別の講師の方との討論の結果が他の班の生徒たちにも分かりやすいように、画用紙にまとめさせ、黒板に掲示させた。</p>		